



ヒトと地球の未来を見つめ 創造への新たな挑戦を続ける。

日本プラスト株式会社

所在地／富士宮市山宮3507-15 TEL.0544-58-6830 <https://www.n-plast.co.jp>
創業／1948年(昭和23年)10月 従業員数／5,736名(連結、2025年3月現在)



出張授業可能です 職場見学可能です

私たちの仕事

自動車のハンドルやエアバッグ、プラスチック部品をつくっています。富士山のふもと、富士市から始まった私たちの会社は、今では世界各地12カ所の拠点を構えるまでに成長しました。設計から製造までの一通りを自分たちで行い、車に乗る人が安全で快適に過ごせるように努めています。時代の移り変わりにあわせて車も変化を続け、また、使う国や地域ごとに求められることもちがいます。それらのニーズに応えた製品をつくり続けます。



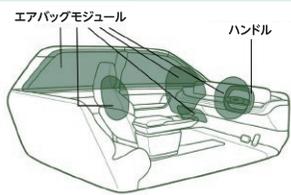
▲富士工場 外観

? どんな製品をつくっているの?



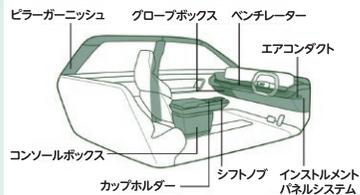
安全部品

運転席・助手席だけでなく、車に乗る人みんなの命を守るための大切な部品です。



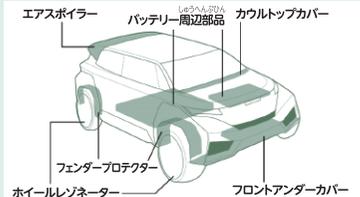
内装部品

乗る人が気持ちよく便利に過ごせる空間になるよう、車の中の見た目や使いやすさを大事にした部品です。



外装部品

外からはあまり見えませんが、車がスムーズに走れたり、軽くて安全になったりするのを助ける部品です。



ハンドルができあがるまでの流れをくわしく見てみよう!



1 設計・実験

お客さまがほしいハンドルを考えて、設計図をつくりまします。さらに実験をくり返して、より良くします。



2 鋳造

金属をとかしてハンドルの土台となる骨組みをつくりまします。



3 ウレタン成形

液体の化学反応でできた、やわらかいウレタンで骨組みを包みます。



6 出荷・納品

ハンドルを自動車メーカーに届けて、たくさんの車に使ってもらいます。



5 組み立て・検査

操作ボタンなどを取り付け、設計図通りにできているか厳しくチェックします。



4 革巻き

職人さんが1本1本丁寧に革をウレタンに巻いて、糸でぬめます。

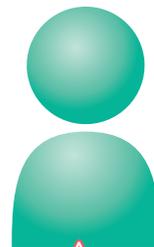


日本プラストがつくった地球にやさしいお店 「plus to u(プラストゥユー)」

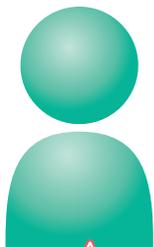
自動車の部品をつくるときに出たゴミから、新しい製品をつくっています。ウレタンのリサイクル素材を土の代わりにした、部屋に飾れる植物、ハンドルの革でつくった小物などをオンラインショップで販売しています。



働く人の声



安全開発部 第一設計課
Aさん



開発実験部 CAE 解析課
Kさん

車のハンドルやエアバッグの設計図をつくっています。もっと良くしようと何度もやり直すので大変ですが、本物の製品ができると達成感がうまれます。自分が関わったハンドルがついた車で道を走る瞬間は、この仕事ならではの喜びを感じます。

設計図から本物の製品をつくる前に3Dデータを使って、デジタル上でちゃんと動くか実験をしています。設計チームと何度も工夫を重ねて製品をより良くしていく過程に、地道ですが確かなやりがいを感じます。